

# 情報セキュリティへの取組みについて

一般社団法人 日本化学工業協会

2015年3月17日

1. 背景
2. これまでの取組み
3. 情報セキュリティ対応組織設置
4. 情報セキュリティ対応部会活動状況
5. 2015年度活動計画
6. 課題

- ◆ ITは、国民生活のみならず産業界の経済活動を支える重要な社会基盤
- ◆ 情報の漏えいや改ざん、システムの機能不全等といった情報セキュリティ対策上の不備が大きな社会問題化
- ◆ 特定の組織・情報を対象とする標的型攻撃は、高度・巧妙化するとともに年々増加傾向
- ◆ システムのネットワーク化・標準化の進展とともに、情報系（事務系）のみならず制御系（生産系）のシステムに対してもセキュリティ上の脅威が増大

**⇒ 増大する情報セキュリティ上の脅威に対し、対策の強化が必要**

## 2-1. 国

<p><b>国家戦略</b> 「サイバーセキュリティ戦略」 (2013年6月公表)</p>	<p>◆環境の変化 1. サイバー空間と実空間の「融合・一体化」 2. サイバー空間を取り巻く「リスクの深刻化」</p> <p>◆基本方針 1. 「強靱な」サイバー空間の構築 2. 「活力ある」サイバー空間の構築 3. 「世界を率先する」サイバー空間の構築</p>
<p><b>経済産業省</b> ◆統括 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 ◆予算 60億円(2014年度)</p>	<p>◆主な政策 1. セキュリティ早期警戒体制の整備 2. 標的型攻撃メール等に対する情報共有の枠組み作り(事務系) <b>⇒化学業界も対象</b> 3. 制御システムのセキュリティ確保(生産系) <b>⇒化学業界も対象</b> 4. 高度情報セキュリティ人材の育成</p>
<p><b>内閣官房</b> ◆役割 「情報セキュリティ政策会議」の 遂行機関</p>	<p>◆主な政策 重要インフラの情報セキュリティ対策に係る行動計画(第3次行動計画)の 推進 ⇒重要インフラ10分野(情報通信、金融、航空、鉄道、電力、ガス、 医療、水道、物流、政府・行政サービス) <b>⇒2014年度より化学、クレジット、石油の3分野が追加</b></p>

### 2-2. 日化協

	標的型攻撃メール(事務系)	制御システム(生産系)
実施内容	攻撃情報共有化の枠組み作り (サイバー情報共有イニシアティブ)	被攻撃体験、訓練施設の稼働 (サイバーセキュリティ演習用模擬システム)
主体	独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)	技術研究組合 制御システムセキュリティセンター(CSSC)
取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2012年5月 会員説明会(約50社)</li> <li>・2012年7月 検討TF発足(7社)</li> <li>・2012年9月 情報共有開始(7社)</li> <li>・2014年3月 日化協情報共有開始</li> <li>・2014年10月 新規参加(6社)</li> <li>・2015年2月 新規参加(1社)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2012年7月 経産省より協力要請</li> <li>・2012年8月 4社による対応開始</li> <li>・2013年5月 施設開所式</li> <li>・2014年3月 化学分野演習実施</li> <li>・2015年1月 同上(内容充実)</li> </ul>
参加企業	14社	昨年度:4社 今年度:6社

上記含めて、情報セキュリティに係るより幅広い取組みを可能とするため、新組織を立ち上げる。

5

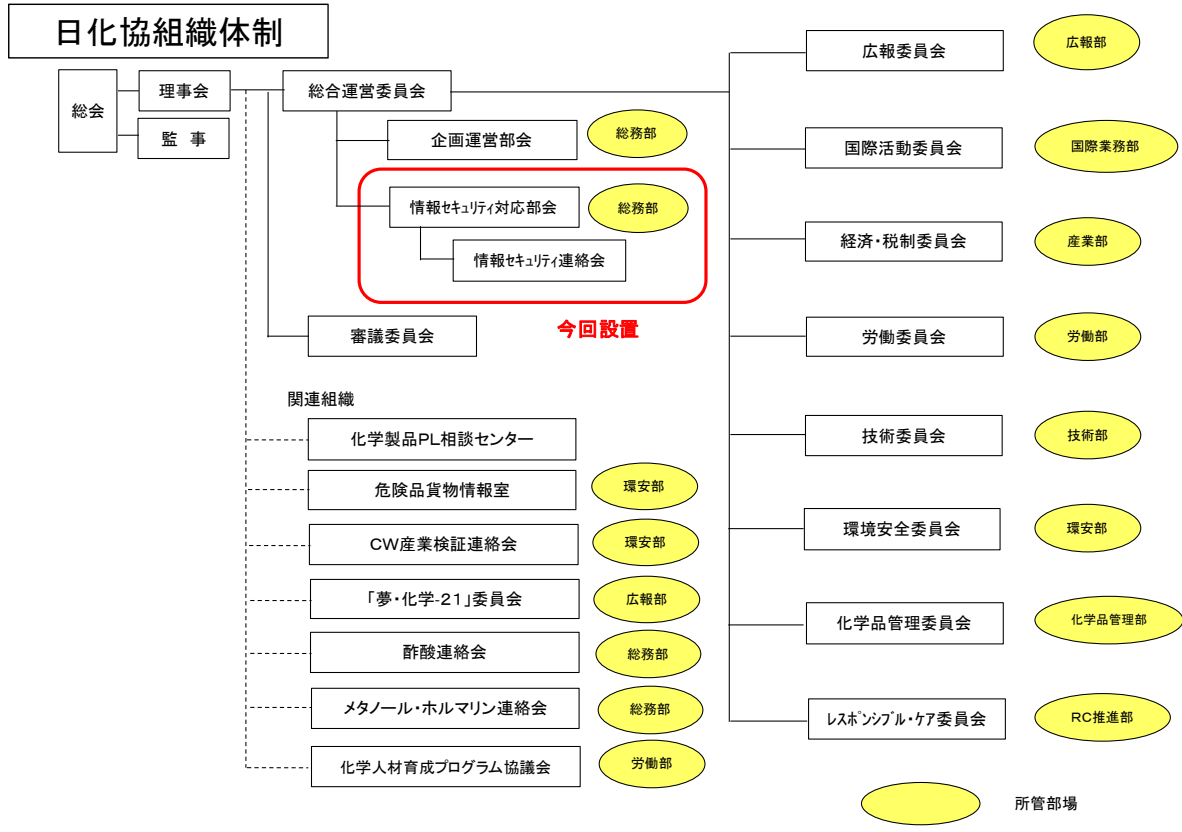
2015 Japan Chemical Industry Association. All rights reserved

### 3-1 組織体制

- ・総合運営委員会の部会として「**情報セキュリティ対応部会**」を設置
- ・「**情報セキュリティ対応部会**」の下に、情報共有を目的とする「**情報セキュリティ連絡会**」を設置

6

2015 Japan Chemical Industry Association. All rights reserved



## 3-2 構成メンバー、役割・機能、主たる活動

	情報セキュリティ対応部会	情報セキュリティ連絡会
構成メンバー	委員: <b>J-CSIP参加会員企業 (情報部門部長相当者)</b> 主査: 委員より選出	・左記に加え、他の <b>日化協企業会員及び団体会員</b>
役割・機能	・情報セキュリティに係る対応の <b>審議検討</b>	・ <b>情報共有</b>
主たる活動	・国家プロジェクトへの参画 ・関係省庁への意見具申 ・情報セキュリティに係る関連活動(情報共有、意見交換、教育活動) 他	・情報セキュリティに係る <b>情報共有</b>
会合	定期: <b>年4回(四半期1回程度)</b> 臨時: 突発時	・ <b>電子メールによる情報提供</b>

### 2015年2月～3月活動状況

#### 第1回情報セキュリティ対応部会・連絡会

(キックオフミーティング)

- ・日時: 2015年2月24日(火) 16:00～17:00
- ・出席者: ①情報セキュリティ対応部会13社、14名出席  
②情報セキュリティ連絡会20社、4団体、26名出席  
事務局4名
- ・議題:  
審議事項: 1. 情報セキュリティ対応部会主査選出の件  
2. 「平成27年度事業計画」承認の件  
報告事項: 標的型攻撃メールの事例について  
(独立行政法人情報処理推進機構)

### 活動方針

国家プロジェクト活動等への参画を通じ、化学工業における情報セキュリティレベルの向上を図る

情報セキュリティに関する諸課題に対し、  
動向の把握及び会員への周知、情報発信、  
化学業界の立場と意見の反映

情報セキュリティに関する教育等自主的活動の展開

## 「情報セキュリティ対応部会」

### (1) 情報系システムセキュリティに対する取組み

「独立行政法人情報処理推進機構」による「サイバー情報共有イニシアティブ(J-CSIP)」への参加と共有情報の活用の更なる促進

### (2) 制御系システムセキュリティに対する取組み

「技術研究組合制御システムセキュリティセンター」による「サイバーセキュリティ演習」への参加促進と疑似体験によるセキュリティ対策の更なる推進

### (3) 情報セキュリティに係る安全基準等の整備動向への対応

化学産業における情報セキュリティに係る業界標準及びガイドライン等の策定、整備動向についての情報収集、情報提供の実施

### (4) 情報提供、教育支援等

情報セキュリティに係るマネジメントシステム、対策技術等に関する研修会等の情報提供と積極的な活用

### 「情報セキュリティ連絡会」

行政当局等の情報セキュリティに関連した各種検討会、集計資料及び法改正の動きにおいて、その重要情報について、会員への周知、情報発信を行うとともに、会員からの相談に対応

企業のセキュリティレベルはかなり高いが、業界団体は小規模なところが多く、セキュリティレベルは企業と比べかなり低い。

提供された情報を「業界」全体で活用したくても、NDAによる制限のため、J-CSIPメンバー以外は利用できず、「業界」全体のセキュリティレベルを上げるまでには至らない。